

2023年、北九州市立医療センターは
誕生150周年を迎えます。

150th
since 1873
2023 ANNIVERSARY

輪

January 2022

vol.84

Kitakyushu Municipal Medical Center Communication Paper

ご自由に
お持ち
ください

がん特集

緩和ケア内科
緩和ケアセンター

写真提供：北九州市 時と風の博物館@狸腹おやじ(白木谷梅林公園)



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター

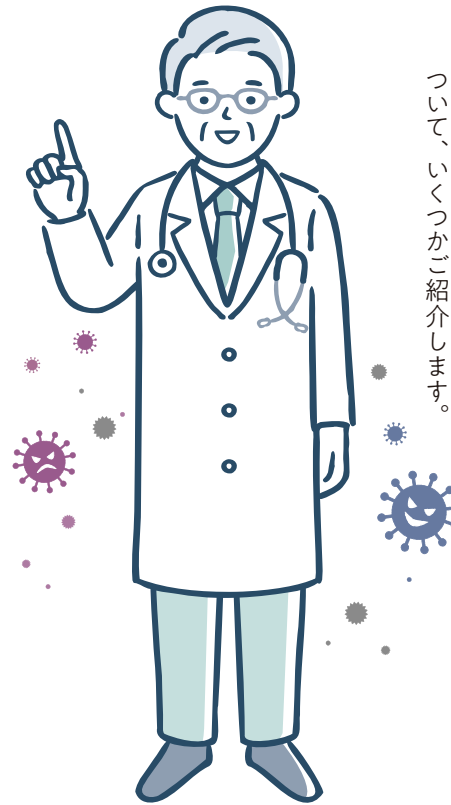
ドクター



冬の感染症について

尾上 泰弘 おのえ やすひろ

小児科 部長



冬に流行する感染症として代表的なのはインフルエンザと急性胃腸炎（嘔吐下痢症）です。ところが2020年に新型コロナウイルスが出現し、多くの方が感染対策に力を注いだ結果、インフルエンザは激減し、無料になったロタウイルスワクチンの接種で胃腸炎も大きく減少しました。

それでもワクチンで予防することができないRSウイルス（咳や喘鳴）やノロウイルス（嘔吐下痢症）などへの注意は必要です。

冬の感染症の多くは自然に治癒しますが、時に肺炎や脱水症を合併し重症化することがあります。重症化の見分け方について、いくつかご紹介します。

①笑顔がずっと出ない
②座る元気がない
③指先の皮膚を押さえてパッと離れた時にピンク色に戻る時間（毛細血管再充満時間）が2秒以上かかる
④呼吸の病気では喉ぼとけの下（乳幼児では首のしわの中央部）が息するたびにベコベコへこむ（陥没呼吸）

このような時は合併症の可能性が高いため、早めにかかりつけのクリニック等で診察を受けると安心です。

標榜診療科一覧

内科	精神科	内分泌・糖尿病内科	乳腺外科	胆のう外科	リハビリテーション科	皮膚科	放射線科
肝臓内科	呼吸器内科	緩和ケア内科	内分泌外科	脾臓外科	脳神経外科	泌尿器科	病理診断科
血液内科	消化器内科	小児科	大腸外科	食道外科	呼吸器外科	産婦人科	救急科
感染症内科	循環器内科	外科	肛門外科	胃腸外科	心臓血管外科	眼科	麻酔科
心療内科	腫瘍内科	消化器外科	肝臓外科	整形外科	小児外科	耳鼻咽喉科	歯科

《基本理念》

わたくたちは公共的使命を自覚し
心のこもった最高最良の医療を提供します

《基本方針》

1. 患者さんの権利 個人情報保護し
患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに
患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし
安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し
あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し
地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症の度重なる波によって日常生活がかなり制限されました。幸いワクチン接種が進んでいますが、年明け早々からオミクロン株による第6波がやってきています。重症化率は少ないと言われていますが、引き続き日常の感染予防対策を油断なくお願いいたします。

さて、今号では緩和ケア内科を特集いたしました。がんによる身体や心の苦痛をやわらげることを目的として、治療を受けておられる患者さんやご家族に寄り添ってまいります。今年も「輪」をよろしくお願いいたします。

広報誌「輪」編集長 高島 健



地方独立行政法人 北九州市立病院機構
北九州市立医療センター

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借2丁目1番1号
TEL.093-541-1831(代表)
FAX.093-533-8693
<https://www.kitakyu-cho.jp/center/>
◎発行日：2022年1月1日

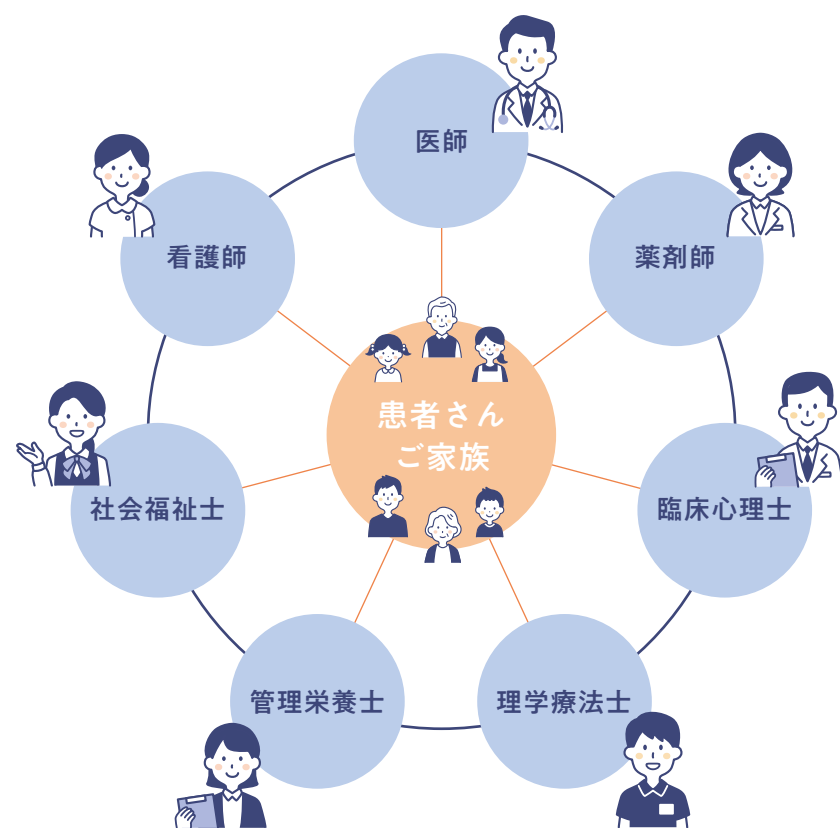


※本紙では撮影用にマスクを外しています。

緩和ケア内科



痛を予防し和らげることが大切です。将来の変化に備え、将来の医療およびケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセスをACP (Advance Care Planning) とします。今後の治療の希望として、してほしくないこと、どこで療養したいかについて、その理由とともに



緩和ケアチーム

に話しておくことが望ましいです。

生命を脅かす疾患を持つ患者さんは、ご家族の苦痛、不安も強いことが示唆されています。できるだけ在宅で過ごしたいという患者さんが多いのですが、それを困難にしている要因の一つにご家族の不安があります。患者さんとご家族、また医療者の安心にも繋がるので、在宅でのサービスが利用可能な場合は、症状により訪問看護師に連絡ができることや、訪問診療医にご相談いただき、必要時には緩和ケア病棟に入院することも可能であることをお伝えしています。当科では、在宅緩和ケアに従事する地域の介護、看護、医療機関の方々と連携して、患者さんの希望される場所安心して緩和ケアを受けていただける環境づくりをすすめています。

そのためにも医療関係者のみならず、市民の皆さんの率直なご意見もいただければと思います。そこから新たな課題や問題を解決に繋げていき、在宅あるいは入院での療養を含めた、より良い緩和ケアを提供するという公共的使命も果たしていきたいと考えています。

緩和ケアについての特集が組まれることになりました。皆さんはこの言葉を聞いて何を連想されるでしょうか。おそらく、緩和ケアという言葉は少しづつ社会に浸透し、一度は耳にしたことがある方も多いと思います。ただ、その理解度は必ずしも十分とは言えないようです。このたび、当院の緩和ケア内科についてご紹介する機会をいただきましたので、緩和ケアについて基本的な考え方や、当科ですすめている取り組みについてお話したいと思います。少しでもより良い緩和ケアを広め理解していただくことに繋がればと思います。

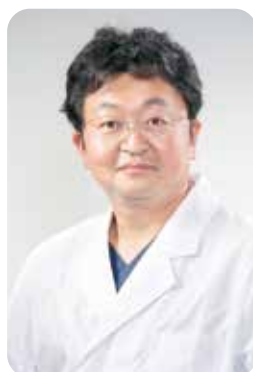
緩和ケアとは、2002年発表のWHO(世界保健機関)の定義において、苦痛を予防し和らげることを通してQOL (Quality of Life 生活の質) を改善するアプローチであると謳われています。生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とそのご家族が対象です。全人的苦痛という言葉があります。これは、身体的、精神的、スピリチュアル、あるいは社会的苦痛を包括した言い方です。このような問題を早期に見出し、的確に評価を行い対応することで、苦

緩和ケア内科

たけ たに その ふ 竹谷 園生

以前から緩和医療分野に興味を持っており、外科医から緩和ケア内科医にキャリアチェンジしました。現在は、大場先生のもとで日々緩和ケア医療に従事しています。

専門医等：日本癌治療認定医機構がん治療認定医、日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医
所属学会：日本外科学会
日本消化器外科学会



緩和ケア内科 主任部長

おお ば ひで お 大場 秀夫

患者さんの身体面だけでなく、心情や社会的な背景を大事にして、がん患者さんの苦痛を和らげ、ご家族にも配慮することができる質の高いケアを実践しています。

専門医等：日本緩和医療学会緩和医療認定医
日本内科学会認定医
日本呼吸器学会専門医
所属学会：日本緩和医療学会、日本内科学会
日本呼吸器学会





緩和ケアセンターの活動



緩和ケアセンター ジェネラルマネージャー
がん看護専門看護師
がん性疼痛看護認定看護師
太郎良 純香 たろうらすみか

当院は、地域がん診療連携拠点病院（高度型）として、がんセンターの部門として緩和ケアセンターを位置づけ、ご紹介いただいた医療従事者の皆様、外来化学療法センターやがん相談支援センターなどの他部門と協力し、緩和ケア提供の充実に努めています。

▼緩和ケアセンターについて

緩和ケアセンターは、①緩和ケアセンター外来 ②がん看護外来 ③緩和ケアチーム ④緩和ケア病棟の4つの機能で構成され、身体や心などのつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支援しています。緩和ケアに関する研修会の実施、地

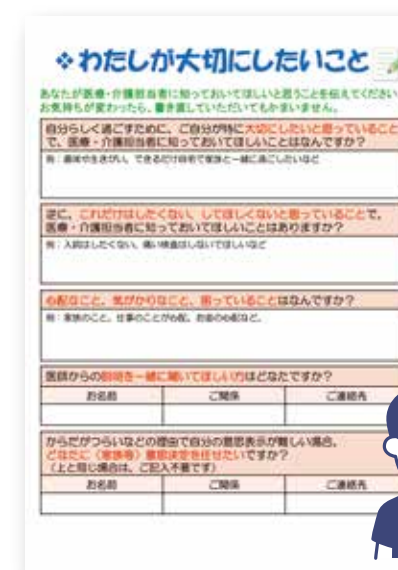
域の緩和ケアを担う医療従事者の方々との連携促進など、専門的緩和ケアの普及・推進に努めています。さらに、ご自身が望む医療やケアについて、事前に家族や医療者と話し合いながら共有していくアドバンス・ケア・プランニング（ACP 人生会議）、地域緩和ケア連携パス「一言日記帳」の普及についても近隣の地域がん診療連携拠点病院と協働し、積極的に取り組んでいます。

▼おわりに

緩和ケアの対象となる患者さん・ご家族は、さまざまな解決困難なつらさを抱えています。そのつらい経験は、希望する療養を行うエネルギーを奪います。今後、さらなるがん医療の進歩が予測される中、個々の患者さん・ご家族のつらさに耳を傾け、自分らしく希望を持つて療養し、生きていかれるための支えとなるよう、心のこもった専門的緩和ケアの提供に努めたいと思います。

一言（ひとこと）日記帳

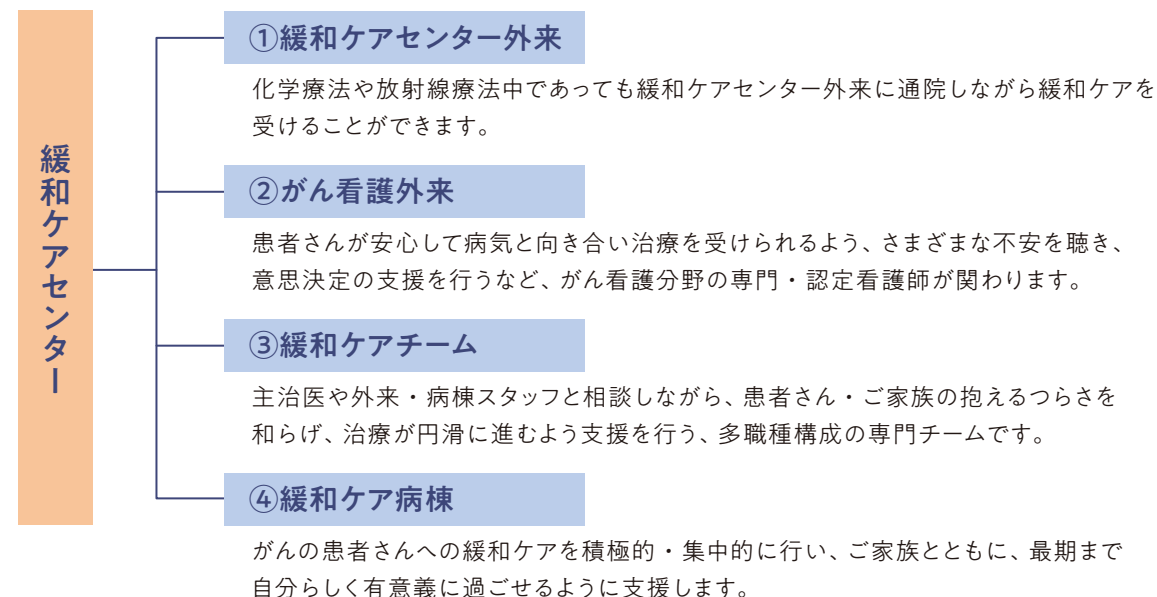
緩和ケアにおける地域連携のコミュニケーションツール



福岡県内のがん診療連携拠点病院では患者さんのつらい症状を和らげ、穏やかに、ご自分らしく過ごしていただくために「一言日記帳」の運用を推進しています。患者さん・ご家族の「日常生活の様子や大切に思っていること」を文字にして、病院や地域の医療・看護・介護担当者で共有することで、もしもの時の備えとなります。

大切にしていること、してほしくないことなど、ご自身の療養に関する希望について確認できます。患者さん・ご家族と医療者が話し合い（人生会議）、意向や意思決定の結果を記録することをおすすめします。

当院の緩和ケアセンター組織体制



「ホスピス緩和ケア週間イベント」について

令和3年10月8日実施

日本ホスピス緩和ケア協会では、令和3年10月3日～10月9日までの1週間を「ホスピス緩和ケア週間」と題し、緩和ケアの普及啓発活動を行っています。

当院においても、1階ロビーに緩和ケアに関する特別コーナーを設置し、緩和ケアチーム（PCT）を中心とした患者さん向けの啓発イベントを実施しました。



「緩和ケア研修会」について

令和3年11月27日実施

令和3年11月には、がん等の診療に携わるすべての医師・歯科医師、緩和ケアに関わる医療従事者の方を対象に、「緩和ケア研修会」を実施しました。

今回は25名の医療従事者の方にご参加いただき、全人的苦痛の緩和や在宅療養支援についてグループ討議を行いました。



北九州市がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業について

北九州市では、令和3年12月1日よりがんに罹患された方が、治療に伴う外見の変化をカバーするために購入した医療用ウィッグや補整具等の費用の一部を助成する事業を開始しました。

対象となるものや補助金額等事業に関する詳細につきましては、北九州市のホームページをご確認ください。

【実施主体】
北九州市保健福祉局難病相談支援センター
TEL：093-522-8763

院長より

新年のごあいさつ

令和4年新春のご挨拶を申し上げます。北九州市立医療センターは、地方独立法人化し4年目を迎えることとなります。

独法後、充実化を図ってまいりました患者支援センターにより、受診予約から退院後の支援まで、地域の医療機関や施設の皆さまとの切れ目のない連携を進めてまいりました。今後も、急性期病院の機能を果たすため、地域医療機関の皆さまへの逆紹介をさらに進めるとともに、急患の受け入れを積極的に行ってまいります。

昨年12月より、外来予約センターを開設し、新患の予約枠増加と2次検診枠を新設しました。連携医療機関の皆さまからもご紹介いただきやすく、また患者さんご自身からも予約が可能なシステムとなっています。

当院は、北九州地区唯一(福岡県内では3病院のみ)の地域がん診療連携拠点病院〈高度型〉として、ゲノム診療を含め、高度ながん診療を提供し、地域に貢献いたします。また、総合周産期母子医療センターとして、コロナに感染された妊婦さんを含め、安心してご出産いただける周産期医療を提供いたします。あわせて質の高い生活習慣病医療も継続してまいります。

北九州唯一の第二種感染症指定医療機関として、令和2年度より新型コロナウイルス肺炎患者さんを地域で最も多く受け入れ、適切に加療してまいりました。この間、患者さんにご迷惑をかける院内感染を起こすことは一度もなく、通常診療を一貫して安全に継続しておりますことは、私どもの誇りです。変異株対策は今後も必要ですが、感染症指定医療機関だからこそできる、厳しい感染症対策を行い、安心して受診いただけますよう職員一同努めてまいります。



院長 なかの とおる 中野 徹

コメディカル紹介

臨床検査技術課、今とこれから

臨床検査技術課



課長 よこやま ともかず 横山 智一

臨床検査技術課は生化学、血液、病理、輸血、細菌、生理機能、一般検査の7つの部門があり、現在41名の技師で運用しています。ここ数年、新人の入職が続き、20代の若手技師が13名と全体の約3分の1を占めています。検査技師は優秀な女性が多く活躍している職種であり、育児時間や産休・育休の取得が多く、また退職後の再任用も増えるなど、働き方が多様化しています。加えて、働き方改革、タスクシフト・シェアなどに伴い、勤務体系も複雑化しています。このような変化に適応し、さまざまな立場の職員皆にとって働きやすい職場にしてい

くことが、これからの大きな課題です。昨年から続く新型コロナウイルス検査では、技師全員の努力の結果、北九州市内でもいち早く、迅速かつ正確な検査が行える体制を築くことができました。このことを、私たちはこの先の大きな自信に繋がりたいと思っています。医療技術が進歩を続けるこれから、私たち検査技師には高い技術と広い視野が求められてきます。日々努力を重ね、検査という手段を通して診療を支えることで、医療センターを受診してくださる患者さんのために貢献していきたいと考えています。

検査が行える体制を築くことができました。このことを、私たちはこの先の大きな自信に繋がりたいと思っています。医療技術が進歩を続けるこれから、私たち検査技師には高い技術と広い視野が求められてきます。日々努力を重ね、検査という手段を通して診療を支えることで、医療センターを受診してくださる患者さんのために貢献していきたいと考えています。



生化学検査



輸血検査



細菌検査



病理検査

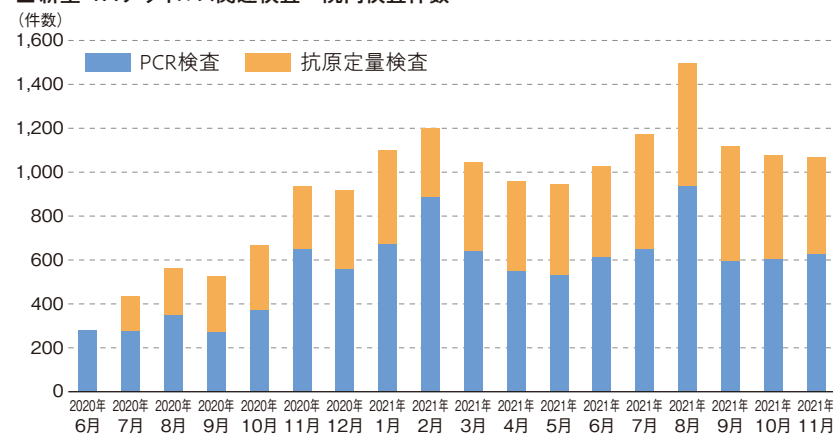


生理検査



血液検査

■新型コロナウイルス関連検査 院内検査件数



ご予約から当日受診までの流れ

1 ご予約の電話



お手元に、保険証・紹介状(2次検診の方は結果表)をご準備のうえ、お問い合わせをお願いします。

2 ご予約の受付



氏名・紹介元医療機関等ご確認の上、予約受付を行います。

外来予約センター

3 当日の受診



初診受付(1階1番窓口)

当日は保険証・紹介状(2次検診の方は結果表)をご持参のうえ、診療予約時間の30分前に、当院1階初診受付窓口までご来院ください。

知って得する“病院のかかり方”

外来予約センターについて

当院では令和3年12月1日より、紹介状もしくは検診結果をお持ちの初診患者さんご本人から直接電話予約ができる「外来予約センター」を開設いたしました。

ご予約の際には、お手元に「保険証・紹介状(2次検診の方は検診結果)」をご用意のうえ、お電話ください。診療科によっては予約可能日、時間帯等異なりますので、事前に当院ホームページをご確認願います。日時については、予約状況によりご希望に添えない場合があります。また、疾患によっては他の医療機関をご紹介させていただくこと

がありますので、あらかじめご了承ください。

当日受診の際には、「保険証・紹介状(2次検診の方は検診結果)・お薬手帳」等をご持参のうえ、予約時間の30分前に1階1番初診受付(正面玄関入って右側)にお越しください。

コロナ感染症流行後、がんの早期発見率が低下しています。健康診断や人間ドック、がん検診等を受けていただき、2次検診の必要がある場合は、速やかに受診してください。早期発見、早期治療があなたの健康を守ります。

外来予約センター

受付時間：平日9時～16時
※祝日・年末年始を除く

093-533-8640

ご予約の変更・キャンセル等については、「外来予約センター」までご連絡ください。



年男・年女

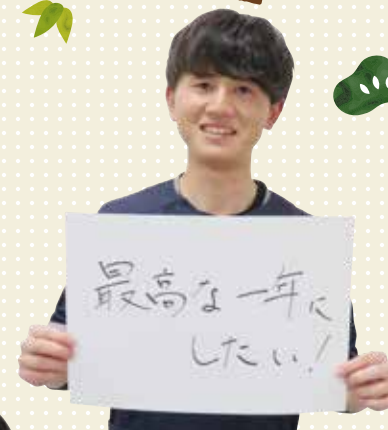
今年は寅年。あなたが主役！
そんな皆さんに今年の抱負を聞きました。



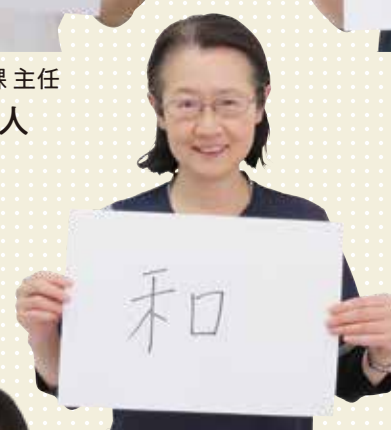
放射線技術課 主任
五反 康人



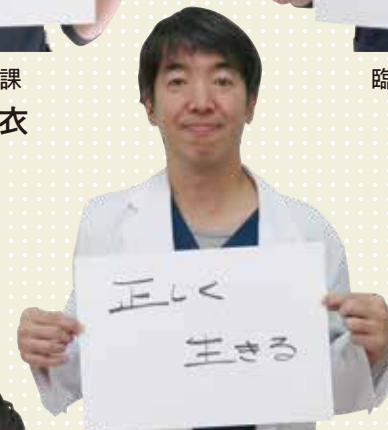
栄養管理課
高橋 由衣



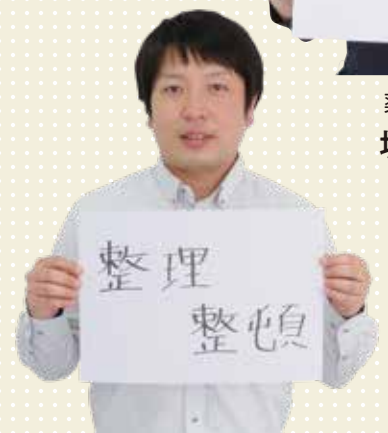
臨床検査技術課
岩野 海晟



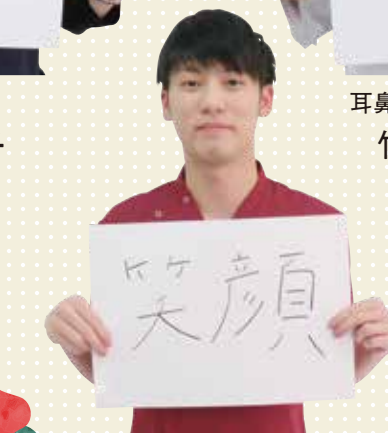
薬剤課 課長
坂本 佳子



耳鼻咽喉科 主任部長
竹内 寅之進



経営企画課 調達係
犬塚 耕輔



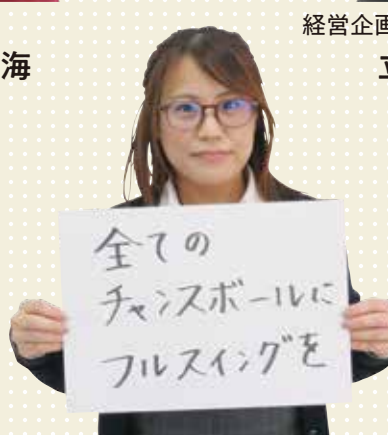
看護部
内立 拓海



経営企画課 経営係(医師事務)
立石 万柚子



看護部
横川 柚月



経営企画課 医事係
木村 衣里奈

連携病院のご紹介

医療法人 若葉会

九州鉄道記念病院

所在地 北九州市門司区高田2丁目1番1号

電話番号 093-381-5661 FAX：093-382-5676

診療科目 内科、リウマチ科、肝臓内科、血液内科、糖尿病内科、呼吸器内科、神経内科、循環器内科、消化器内科、外科、肛門外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、眼科、放射線科、婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、臨床検査科、病理診断科、麻酔科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9：00～12：00	○	○	○	○	○	急患のみ	急患のみ
13：00～17：25	○	○	○	○	○	急患のみ	急患のみ

※診療科によって受付時間が異なります。ホームページまたはお電話にてご確認ください。
13：00～17：25の診療は原則急患のみ対応となります。
受診をご希望の場合は事前にご確認をお願いいたします。



院長 古郷 功 先生



貴院のご紹介をお願いいたします

令和2年4月に運営主体がJR九州から医療法人若葉会に移り、病院の名称が九州鉄道記念病院に変わりました。現在、一般病棟158床、地域包括ケア病棟45床、回復期リハビリテーション病棟33床を擁するケアミックス病院として、地域医療への貢献に務めております。北に関門海峡、南に緑をたたえた戸ノ上山を望む自然豊かな療養環境で、専門医師による質の高い医療および経験豊かな看護師の心のこもった看護の提供を行っております。また紹介患者さんの受け入れに円滑かつ迅速な対応を心がけております。これからもよりしくお願いいたします。

地域の方、患者さんへメッセージをお願いします

令和3年12月1日から回復期リハビリテーション病棟を開設いたしました。大腿骨頸部骨折や脳血管疾患等の治療後、引き続き社会・自宅への復帰にサポートを必要とする患者さんに、専門スタッフが集中的にリハビリテーションを行う病棟です。
回復期という大切な地域医療を担う一員として、近隣のクリニックおよび病院の先生方にご指導をいただきながら努力を続けてまいります。

患者支援センターだより

地域医療連携システム「メディマップ」導入しました

当院では、患者さんの逆紹介を進めるため、医療機関の検索・表示機能をもつ「メディマップ」を導入しました。
メディマップの導入にあたっては、連携医療機関の皆さまに「受入可能な診療内容等」および「医院の特徴や患者さん宛てメッセージ」のアンケートにご協力いただきありが

うございました。紙面上で大変恐縮ですが、御礼申し上げます。
連携医療機関の先生方からいただいた情報を当院独自のデータベースとして院内で活用させていただきます。
今後ともよりしくお願いいたします。

「ZOOM」を利用したオンラインでの地域医療従事者研修会を開催しています

当院では、新型コロナウイルス感染症対応として地域医療従事者研修会を「ZOOM」を利用したオンラインで開催しています。多くの医療従事者の方々にご参加いただいています。毎月開催しておりますので、参加ご希望の方は患者支援センターまでご連絡をください。

問い合わせ先
北九州市立医療センター／患者支援センター
担当：倉岡、谷口 TEL：093-541-1831(代表)

【お問合せ先】医療連携室 TEL 093-533-8660



受付時間：8：30～17：00
予約時間：8：30～18：30

望月胃腸クリニック

所在地 北九州市八幡西区東曲里町7-28

電話番号 093-632-1350 FAX：093-632-1351

診療科目 内科、胃腸科、消化器科、呼吸器科、放射線科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9：00～13：00	○	○	○	×	○	○	×
15：00～17：30	○	○	○	×	○	×	×

※土曜日は14時まで

Q 市立医療センターへのメッセージをお願いします
A 患者さんに手術の紹介病院を選んでもらう時に必ずがんセンタリーのある市立医療センターを選択肢に入れて提案します。それは治る確率を1%でも上げたい、生きたいと思う患者さんの願いでもあるからです。時に厳しい症例も送らせていただき感謝しております。

Q 貴院のアピールポイントを教えてください
A 昭和35年に父が八幡東区祇園町に内科を開業し、平成7年に現在の八幡西区の黒崎イオン近くに移り、平成15年にそこを私が継承しました。今年で63年目になります。胃腸の専門医としての診療のみならず、高血圧など生活習慣病の患者さんも多く来られます。



院長 望月 祐一 先生

登録医のご紹介

しょうこ・女性クリニック

所在地 福岡県遠賀郡岡垣町野間2丁目16番6号

電話番号 093-281-2727 FAX：093-281-2728

診療科目 婦人科、女性内科

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9：30～13：00	○	○	○	×	○	○	×
14：00～17：30	○	○	○	×	○	×	×

※火・金曜日の診療時間(午後)は16時30分～20時まで ※土曜日は14時まで ※受付は30分前で終了

Q 市立医療センターへのメッセージをお願いします
A 悩みを一人で抱えずにどうかお気軽に当院へご相談ください。専門的医療が必要な場合など、北九州市立医療センターの先生方に迅速に受け入れていただき大変に感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

Q 貴院のアピールポイントを教えてください
A 遠賀郡岡垣町で令和3年1月に開業した婦人科クリニックです。子宮がん検診、月経困難症、更年期障害、不妊治療などを中心として、女性の悩みを気軽に相談していただけるクリニックです。思春期前の女の子から老年期の女性まで幅広い世代の女性に通っていただいております。



院長 中野 章子 先生